

KUNST ARZT では、池田聡子の初個展を開催します。
池田聡子は、拾った石をモチーフに、銅版画の偶然性を生かし、非現実の“石”を表現するアーティストです。
一見、写真の様にも見えますが、銅版画には、イメージを描写した銅板を腐蝕させるプロセスがあり、そこには作者の意図や作者の言う“自然の流れ”が存在します。
本展は、模様の面白さや見栄えといった“石”の選択基準に逆行する試みも含め、これまでにない石の嗜みを提供する機会です。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



drop
2022
アクアチント、ディープエッチング
/ ハーネミュール
380×290mm

経歴

1997年 京都府出身
2022年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 絵画専攻版画 修士課程 修了

展覧会

2019年 京都市立芸術大学・東京藝術大学合同版画展
「PORTO DI STAMPA2019 圧力の湊」(アートゾーン神楽岡/京都)
2019年 第7回 PORTO DI STAMPA - 京都芸大版画8人展 - (B-gallery/東京)
2019年 第44回全国大学版画展 (町田市立国際版画美術館/東京)
2020年 第8回 PORTO DI STAMPA - 京都芸大版画6人展 - (B-gallery/東京)
2020年 京都市立芸術大学・東京藝術大学合同版画展
「PORTO DI STAMPA2020 約束と版」(アートゾーン神楽岡/京都)
2021年 第46回全国大学版画展 (上田市立美術館/長野)
2022年 in the wave (同時代ギャラリー コラージュブリュス)
2022年 神山財団芸術支援プログラム 第8回卒業成果展 (AXIS ギャラリー/東京)
2023年 Infinitely expanding printmaking expression
- 無限に広がる版画表現 - (芝田町画廊/大阪)

2023年10月17日(火) から 22日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

アーティスト・ステートメント

拾った石の模様や形をもとに、銅版画の持つ偶発性に委ねて作品を制作している。
私にとって銅版画とは、銅板を腐蝕する行程があることや描画材の滲みを利用出来ることから、意図しない現象が大きく介入する技法であると考えている。
銅版画で石を描くことは、絶えず変化するすべての物質の流れに沿いながらも、現実の石にはない作者の意図を織り込んだイメージを作ることが出来ると考え、制作している。



flow of time
2022
アクアチント、ディープエッチング/ファブリアーノ
1500×1000mm



silence
2022
アクアチント、エッチング/ハーネミュレ
545×424mm



flow#2
2022
アクアチント、ディープエッチング、
ドライポイント/ハーネミュレ
200×350mm



石を拾うこと/Identity
2021
アクアチント、エッチング、ディープエッチング/ファ
ブリアーノ
1070×980mm